

第403号 令和6年11月

東京都農業会議情報

編集及び発行 (一社)東京都農業会議

渋谷区代々木3-25-3
TEL 03-3370-7146

大阪府の農業施策や箕面市の農委会活動など研究

農業委員会会長研究集会

都農業会議は、このほど、農業委員会会長研究集会を大阪府内で開き、農業委員会会長や事務局職員などおよそ59人が参加しました。

1日目は箕面市農業委員会(稲垣恵一会長)より、箕面市の農業公社による学校給食の地場産農産物の利用促進と遊休農地の解消に向けた活動について説明を受けました。次に、大阪府農業会議と大



会長研究集会(1日目)の様子



借り受けた生産緑地で現地を紹介する松岡さん(左)

阪府庁の担当課より、大阪府の都市農業関連の取り組みや大阪版の認定農業者制度について説明を受け、研究しました。

2日目は、八尾市の農地バンク事業や特産の花き生産について齊藤暁同市農業委員長から説明を受けました。また、JA大阪中河内(畑中正史組合長)から農地バンク事業の具体的な取組について

日野市・清瀬市の農委会活動を研究

農業委員会会長職務代理・部会長研究集会開く

都農業会議は、このほど、農業委員会会長職務代理・部会長研究集会を開きました。9月19日には、区内地区と北多摩地区を対象に開き、およそ60人が参加しました。

最初に、立川市のたましんRISURUホールにて、日野市農業委員会(岩沢宏会長)より日野市の農業委員会活動



大規模経営について話す小寺職務代理(左)

の説明を受け、本事業を活用し生産緑地を借り受けて若ゴボウなどを生産する松岡孝明さんのほ場を現地研究しました。

や学校給食の取り組みなどについての説明を受けました。その後、日野市の株式会社ネイバーズファーム(梅村桂代表)のトマト生産を現地研究しました。

次に、岩沢宏会長の花木経営を現地研究し、近年の花木の市場動向などについて説明を受けました。

9月26日には、西多摩地区と南多摩地区を対象に開き、およそ30人が参加しました。

最初に、清瀬市農業委員会(松村俊夫会長)より、清瀬市の農業の概要や農業委員会活動、生産緑地バンクの取り組みなどについて説明を受けました。

その後、清瀬市農業委員会の小寺正明会長職務代理の大規模な野菜経営を現地研究し、規模拡大を進める上での課題などを伺いました。

続いて、土屋俊治さんのイチゴ経営を現地研究しました。販路は直売が中心となっており、売上の向上にむけた取組や工夫などについて参加者と意見を交わしました。

あぜみち

「食育に携わった立場から地域に農業・農地を将来にわたって残したい」▼立冬を過ぎてても暖かい11月13日「女性農業委員等研修会」で小金井市会長職務代理を務める松嶋あおい委員は話した▼氏はNPO法人江戸東京野菜コンシェルジュ協会役員など各方面で活躍されているが、新鮮な農産物を笑顔で食べる子供達を見るたび、作り手の減少を心配する▼昨年7月の改選で女性委員は53人から74人増えた。農業者、食育、広報他専門分野も多彩だ。農商連携、食農教育、仲間作り等を語る参加委員の想いはたくましい▼「とちぎ女性農業委員の会」設立20周年記念誌が本会に届いた。委員104名、登用率22.6%、全国1位を継続中だ。やはり食育活動や研修交流会を重ね地域の活動に貢献している▼新たな発想を共有し地域に活かすことが今求められている。

練馬区の農業体験農園を現地研究

常設審議委員など34人が参加

都農業会議は、このほど、10月17日の常設審議委員会にあわせて練馬区で現地見学会を開き、常設審議委員など34人が参加しました。

はじめに、ホテルカデンツア東京にて、練馬区の担当者より農業委員会の取り組みについて説明を受けました。

次に、白石農園にて、園主でありNPO法人全国農業体験農園協会の副理事長でもある白石好孝さんより、農業体験農園の取り組みや食農教育について話を伺い

親元後継者への支援や猛暑対策などを要望

都経営者クラブなどが都農林水産部との意見交換会を開く

都農業会議は、都農業経営者クラブ（吉野光政会長）との共催で10月31日に認定農業者等担い手連絡会議および都



東京都農林水産部との意見交換会の様子

ました。白石さんが運営する農業体験農園「大泉 風のがっこう」は、平成9年に練馬区で2番目に開園した農業体験農園で、現在は1区画30㎡で125区画を管理し、開園以降、利用者の需要に応じた工夫を重ねていました。

続いて、後継者の秀徳さんよりビニールハウスでのアスパラガス生産の取り組みや出荷調整作業を福祉事業所へ委託する農福連携の取り組み、周年を通して季節野菜の収穫体験ができるベジかるファーム

農林水産部との意見交換会を開きました。

本連絡会議には、区市農業経営者クラブ代表など8人と区市認定農業者組織の代表など7人、各組織の事務局11人が出席しました。

はじめに、担い手組織の活動状況や都農業会議の取組について情報提供を行いました。そのなかで区市組織間や担い手組織との連携を図るため、12月12日に「農畜産物の価格形成についての意見交換会」を本連絡会議の第2回目として開くこととしました。



現地で経営を紹介する白石好孝さん（左）と秀徳さん（左から2人目）

ムについて状況を伺ったほか、今後の農業経営や都市農業特有の課題などについて参加者と意見を交わしました。

都農林水産部との意見交換会では、農業振興課の渋谷圭助課長、農業基盤整備課の河野章課長、食料安全課の小堺恵課長、農業振興課の今安典子担当課長などと参加者が意見交換をしました。

主に「親元後継者の育成などの担い手対策」や「猛暑等の天候不順による営農環境や生産状況への影響」について意見を交わしました。

親元就農者の就農を促す支援を求める声や今夏の猛暑による収量・品質の低下などの被害を訴える声があり、より早急で効果的な支援を要望する意見が多くありました。

東京都農業法人協会が通常総会を開く

新会長に新倉大次郎氏を選任

都農業法人協会（北島一夫会長）は9月30日、JA東京第1ビルにおいて、令和6年度通常総会を開きました。

総会では、令和5年度事業報告・収支決算についてのほか、令和6年度事業計画・収支予算として、セミナーなどの研修会や会員アンケートの実施について決定しました。

また、役員を選任が行われ、下記のとおり会長や副会長などの役員が新たに就任しました。

その他、理事や賛助会員、顧問については、下記のとおりです。

- ▼会長 新倉大次郎（有限会社ニイクラファーム・西東京市）
- ▼副会長 北島一夫（農事組合法人 東京みるく工房ピュア・町田市）
- ▼監事 菊池國仁（農事組合法人 大興園・八丈町）
- ▼監事 平野久雄（あきる野市）
- ▼理事 大森 齊（大森畜産有限会社・府中市）
- ▼賛助会員 農林中央金庫、東京都信用農業協同組合連合会

- ▼顧問 篠 三男（前副会長）、北沢俊春（元東京都農業会議事務局長）

理事会・常設審議委員だより

○理事会

10月17日に練馬区のホテルカデンツア東京で理事会を開催した。

議事として、①第2回臨時総会の開催日時及び場所および②臨時総会の提出議案である「理事の補充選任」について説明し、それぞれ議案どおり決定した。

あわせて報告事項として「会長の職務執行状況」について報告した。

○第7回常設審議委員会

理事会に引き続き、第7

回常設審議委員会を開催した。

報告事項として、①東京都から農地法の第5条の農地転用許可（9月）の状況（3件、6405.36㎡）、

②農業会議から農地中間管理権の取得と使用収益兼の設定・移転（10月）の状況について、それぞれ説明を行った。

その他、協議事項として「令和7年度東京都農業会議事業・予算の構想（案）」について協議を決定した。

生産緑地を借り受けた農業経営などを研究

都市農地流動化現地見学会開く

都農業会議はこのほど、J A東京中央会の協力を得て、都市農地流動化現地見学会を開きました。

本見学会は、5月17日に開いた都市農地流動化協議会において決定し実施したものです。

本年度は、北多摩地区を対象に2回開きました。

1回目は、10月9日に開き、農業委員やJ A職員などおよそ20人が参加しました。

最初に、昭島市で生産緑地を借り受けた飯田祐己さんの農業経営を見学しました。

飯田さんは住宅地に隣接した生産緑地で、農業体験農園に取り組んでいました。

次に、小金井市の萩原英幸さんの生産緑地を見学しました。



小平市の小野義雄さん（左から2人目）・晴義さん（左）

萩原さんは、学校給食用の野菜生産などに取り組んでいました。

最後に、武蔵野市の鈴木茜さんの農業経営を見学しました。



自らの経営について話す篠宮さん（左）

ました。

鈴木さんはSNSを効果的に活用し、直売に取り組んでいました。

2回目は、10月22日に開き、農業委員やJ A職員などおよそ15人が参加しました。

最初に、篠宮仁さんの農業経営を見学しました。

篠宮さんは、今後も生産緑地を借り規模拡大を図りたいと、今後の展望を話しました。

次に、小平市の小野義雄・晴義さんの農業経営を見学しました。

生産緑地を借り受ける際にJ Aや農業委員会と連携した経緯などについての説明を聞きました。

女性農業委員研修会を開く

女性農業委員の活動や都民農園について研究

都農業会議は、11月13日に小金井市商工会館にて、女性農業委員等研修会を開き、女性の農業委員・農地利用最適化推進委員などおよそ40人が参加しました。

はじめに、参加者全員で自己紹介をした後、研修に入りました。

研修では、小金井市農業委員会（高橋金一会長）の会長職務代理者で女性農業委員で

ある松嶋あおいさんより食育



講演する松嶋あおい職務代理

先進地調査研究視察開く

南多摩地区農業委員会協議会

南多摩地区農業委員会協議会（松本一宏会長・稲城市）はこのほど、先進地調査研究視察を開き、農業委員会長、職務代理者、農業委員、事務局職員など23人が参加しました。

当日は、八王子駅に集合し、バスにて青梅市に向かい、4件の農業経営を見学しました。

1件目は、奥園和子さんのララ・ファーム・テーブルが取り組むハーブ類を中心とした

に携わるようになった経緯と農業委員としての活動を通じて、都市農地を守るうとする取り組みについて説明を受け、活発な意見交換がなされました。

その後、「わくわく都民農園小金井」に会場を移し、本会より市民農園の制度概要を説明した後、小金井市観光まちおこし協会の千葉幸二さんより「わくわく都民農園小金井」の事業概要や運営コンセプトについて説明を受け、現地研究をしました。

た経営を研究し、顧客向けのセット販売の取り組みなどの説明を受けました。

2件目は、繁昌知洋さんの多品目の野菜経営を見学しました。

3件目は、清水寛久さん・麻衣子さん夫妻が取り組む有機農業を見学しました。参加者は、有機農業ながら、きれいに耕作されているほ場を絶賛していました。

4件目は、関塚直子さんのベリーコテージのブルーベリーを中心とした果樹経営を見学し、栽培の工夫や加工品への取り組みについて研究しました。



自らの経営を説明する清水夫妻（中央と左）

練馬区で現地見学会を開く

NPO法人全国農業体験農園協会

NPO法人全国農業体験農園協会(加藤義松理事長)は、10月31日に練馬区にて会員現地見学会を開き、会員28人が



農園の様子を紹介する五十嵐さん(中央)

参加しました。

「イガさんの畑(園主五十嵐透氏)」では体験農園の運営方法のほか、栽培が終了した2月からの深耕や堆肥施用による土づくり、農薬の選び方など、よりよい野菜づくりのための取組について話を聞きました。

その後、柿栽培60年以上の歴史を持ち、東京都農業祭品評会で都知事賞の受賞歴を持つ「莊埜園」を見学しました。先代の経営を引き継ぎながらも、新たな栽培方法やスマー

小金井市・立川市の農業法人経営を研究

農業経営の法人化と農地の貸借・雇用の活用研究会

都農業会議は11月6日・15日に「農業経営の法人化と農地の貸借・雇用の活用研究会」を開きました。

この研究会は都内で農地を借りて農業参入する法人や農業経営を法人化する農業経営者が増えていることを受けて、都の委託事業を活用して開いたものです。

2日間共通で弁護士岩崎紗矢佳氏より「農業経営の法人化に伴う留意点」について、都農業会議より「農業経営の法人化と農地の権利取得等」について説明をした後、事例研究を行いました。第1回では小金井市のHight Bridge株式会社(高橋健太郎代表)、第2回は

ト農業を取り入れた経営が実践されていました。

最後に、「大泉風のがっこう(園主白石好孝氏)」では、農業体験農園のほか、収穫体験や学校などでの食農教育について、農福連携によるアスパラガスの出荷調整の作業委託、農園レストランとの連携など幅広い活動について紹介がありました。

農業体験農園の園主どうしで活発な意見交換がなされ、有意義な現地研究が行われました。

立川市の株式会社あみちゃんファーム(網野信一代表)による講演と、ほ場での現地研究を行いました。



第1回の研究会の様子

神奈川県と合同で農業委員会職員が研修

東京都農業委員会職員研究会

東京都農業委員会職員研究会(小川圭会長)と神奈川県農業会議(持田文男会長)はこのほど、共催で農業委員会職員現地研究会を開き、東京都から23人、神奈川県から25人、総勢48人が参加しました。

本研究会は、東京都と神奈川県が共有する都市農業の課題などについて、意見を交換するために毎年開いているもので、本年度は、10月4日に小田原市と南足柄市にて、主に新規就農や神奈川県農業経営・就農支援センターの取り組みについて研究しました。

小田原市では、指導者となる受入農家と研修者を仲介する「農業研修受入事業」を実施し、農業委員会が行う「農地有効利用希望者登録制度」の活用で、新規就農者が増加傾向にあるとの説明を受けました。



小田原市で新規就農した田代さん(左)

続いて南足柄市では、「市民農業者制度」と「市新規就農基準」を運用することで、多様な担い手を確保し遊休農

12月の日程

- 12・2(月) 西多摩地区別職員検討会
- 12・6(金) 南多摩地区別職員検討会
- 12・9(月) 区内地区別職員検討会
- 12・11(水) 北多摩南部地区別職員検討会
- 12・13(金) 農業委員推進委員現地研究会
- 12・16(月) 北多摩西部地区別職員検討会
- 12・17(火) 常設審議委員会
- 12・19(木) 北多摩北部地区別職員検討会